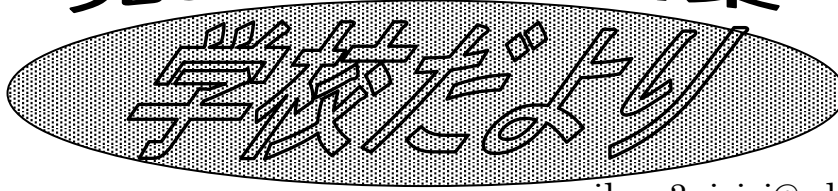


2月号

光あふれる西柴



令和8年1月30日
横浜市立西柴小学校
横浜市金沢区西柴 4-23-1
Tel. 045-783-1182
校長 柴原 美樹子

e-mail y3nisisi@edu.city.yokohama.jp<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nishishiba>

わかる・できる・つながるうれしさを子どもたちに

副校長 田邊 訓志

季節は冬ですが、日差しのある日は、とても暖かく感じます。

校舎の渡り廊下から見える白梅・紅梅は、もう花を咲かせていました。今年の横浜の梅の開花は1月13日。平年より19日も早く、これは記録的な早さとのこと。気になって桜の開花予想日も調べてみました。梅ほど早まることはなく、3月23日頃～3月28日頃でした。卒業式で桜が見られるかな？入学式まで桜の花が残っているだろうか？などと考えてしまいます。

さて、今回は教員の「授業研究」にふれたいと思います。横浜市立小学校の教職員は、それぞれ教科を一つ担当して、校内の授業推進や環境整備、行事の運営等を行っています。また、同じ区のほかの小学校の職員とも連携しながら、授業研究を行っています。横浜市全体の職員と連携して研究を進めている職員もいます。年に数回、「一斉授業研究日」として、他の学校に出かけていき、授業を見学したり、授業について議論を交わしたりもします。このようにして、一つの教科の授業について、児童の発達段階に応じてその教科の特性に触れる（わかる・できる・つながる）学びを追及することを通して、他の教科にも生きる指導の在り方を学んでいます。

私が担当した教科は「体育」でした。「できなかったことができるようになる」うれしさをできるだけたくさん子どもたちに伝えられるように、仲間と集まって、熱心に研究しました。「子どものころにできたことは、大人になってもできる。だから、できるだけたくさんの種類の運動に十分にふれること。できるだけ、「遊び」のように夢中で取り組めるようにすること。」こんなアドバイスを先輩から受けました。

私は幼少のころ、「鉄棒」がどうも苦手で、前に後ろにぐるぐるといろいろな技を楽しむ友達がいる中、なかなか上手になりません。とうとうそのまま大人になってしまいました。

教員になり、体育の研究会に参加する中で、「鉄棒」と、「ぶらんこ」は似ていることに気が付きました。『「ぶらんこ」には、「前こぎ」と「後ろこぎ」の両方の技術を身に付ける必要がある。鉄棒も同じ。』

ということです。今では当たり前のようにできる「ぶらんこ」も、はじめはうまくこげませんでした。「前こぎ」と「後ろこぎ」ができて、はじめて勢いよくこげるようになったことを思い出しました。

そして、このことをもとに、授業で子どもに伝えました。『鉄棒では、「ぶらんこ」ができた時と同じように、いろいろな体勢（ぶらさがり、ふとんほし、かたあしかけ、だるまなど）で「前こぎ」と「後ろこぎ」を強くできるようにしていくこと。』すると、鉄棒が上達し、すきになる子どもが増えていきました。

このことをきっかけに、どの教科や領域でも、理解したり上達したりするための「こつ」があるはずだと考えるようになり、授業を考えることがますます楽しくなりました。

私は、今は授業から少し離れていますが、教職員は日々授業づくりに励んでいて、学校では、子どもたちの「わかる・できる・つながる」うれしさを感じた時の笑顔をたくさん見ることができます。

日々、子どもの成長のために働きかけることのできるこの職場にほこりを持ち、職員一同歩んでまいりたいと思います。今後とも変わらぬご支援・ご協力を、よろしくお願いいたします。